

平成23年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年4月1日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ヴィレッジヴァンガードコーポレーション
 コード番号 2769 URL <http://www.village-v.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 白川 篤典

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 吉岡 敏夫

TEL 052-769-1150

四半期報告書提出予定日 平成23年4月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年5月期第3四半期の連結業績(平成22年6月1日～平成23年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年5月期第3四半期	29,881	9.9	2,773	8.7	2,824	9.1	1,299	△7.3
22年5月期第3四半期	27,193	10.8	2,550	13.0	2,588	12.1	1,402	13.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年5月期第3四半期	33,786.39	—
22年5月期第3四半期	36,457.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年5月期第3四半期	27,765	15,399	55.4	400,309.02
22年5月期	26,528	14,223	53.6	369,751.04

(参考) 自己資本 23年5月期第3四半期 15,380百万円 22年5月期 14,223百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年5月期	—	0.00	—	2,800.00	2,800.00
23年5月期	—	0.00	—	—	—
23年5月期 (予想)	—	—	—	2,800.00	2,800.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年5月期の連結業績予想(平成22年6月1日～平成23年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,678	8.3	3,055	△7.6	3,088	△8.0	1,420	△22.5	36,927.46

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、 除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年5月期3Q 38,468株 22年5月期 38,468株

② 期末自己株式数 23年5月期3Q 一株 22年5月期 一株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年5月期3Q 38,468株 22年5月期3Q 38,468株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第3四半期連結累計期間】	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9
4. (参考) 四半期財務諸表(個別)	10
(1) (参考) 四半期貸借対照表(個別)	10
(2) (参考) 四半期損益計算書(個別)	12
【第3四半期累計期間】(参考)(個別)	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善や経済政策による個人消費の底上げ効果など、一部に景気回復の兆しが見られたものの、雇用・所得環境の改善には至らず、円高やデフレによる影響も懸念されるなど先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経済環境のもと、当社をはじめとする当社グループは、いままで世の中になかった独創的なワン・アンド・オンリーの空間をお客様に提供し続けることにより、「モノを買う」という小売の行動から「モノを買うという行為そのものの楽しさ」をお客様に提供することを目指しております。

この方針のもと、当社では、前第4四半期連結会計期間より自店を持たない専任エリアマネージャー制度を導入し、お客様に楽しさを提供できるよう、現場が自ら考え、独自に提案していく力を引き出すため、よりきめ細かい指導を行ってまいりました。

その結果、平成22年7月において、既存店売上高前年比が17ヶ月ぶりに100%を超え、当第3四半期連結累計期間では、100.8%を達成することができました。平成23年2月には、エリアマネージャーの担当エリアを変更し、更なる活性化を図っております。

一方、「社内問屋」の役割を果たす営業推進部の2チーム化では、商材開拓や店舗への提案力などをチーム間で競い合うことで取扱商材の出荷量は前年同四半期に比べ増加しております。しかしながら、店舗における商品バリエーションの増加、売り場の活性化には十分とはいえず、更なる改善を図ってまいります。

連結子会社チチカカは、新規顧客層の開拓を図るため、商品ラインナップの拡充を継続的に実行した結果、平成20年2月より既存店売上高前年比が37ヶ月連続で100%を超えております。当第3四半期連結累計期間では、拡充した商品の提案にも力を入れた結果、衣料販売が特に好調に推移し、118.8%と堅調に推移いたしました。

新規店の出店は、引き続き、インショップへの出店を中心に推進し、当第3四半期連結累計期間における当社単体では、直営店29店を出店し、直営店7店、F C店2店を閉鎖しました。その結果、当第3四半期連結累計期間末の店舗数は、直営店331店、F C店23店の合計354店となりました。また、当社グループの当第3四半期連結累計期間末の店舗数は、直営店388店、F C店25店の合計413店となりました。

上記の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高29,881,777千円と前年同四半期と比べ2,688,477千円(9.9%)の増収となりました。利益面につきましては、専任エリアマネージャー制導入及び「社内問屋」の役割を果たす営業推進部の2チーム化に伴う増員の影響などにより販売費及び一般管理費が1,039,172千円増加しましたが、専任エリアマネージャー制度導入でもたらされた増収効果、連結子会社チチカカの増収効果のほか、当社における棚卸ロス改善活動の推進とその他の販売費及び一般管理費の継続的な見直しにより、営業利益は2,773,271千円と前年同四半期と比べ222,888千円(8.7%)の増益となり、経常利益は2,824,345千円と前年同四半期と比べ235,594千円(9.1%)の増益となりました。

しかしながら、四半期純利益は、特別損失として第1四半期連結会計期間より適用された資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額を260,976千円計上したことにより、1,299,694千円と前年同四半期と比べ102,762千円(△7.3%)の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.8%増加し、22,984,245千円となりました。これは、商品及び製品が1,260,038千円増加したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて9.1%増加し、4,780,777千円となりました。これは、建物及び構築物が328,327千円増加したことなどによるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて4.7%増加し、27,765,023千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて512,574千円減少し、7,858,026千円となりました。これは、未払法人税等が507,024千円減少したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて14.6%増加し、4,507,909千円となりました。これは、資産除去債務が600,323千円発生したことなどによるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて0.5%増加し、12,365,935千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて8.3%増加し、15,399,087千円となりました。これは、四半期純利益が1,299,694千円となったことなどによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により、当社グループでは東北地方及び関東地方の店舗において商品落下・什器の転倒・ショーケース等の破損や入居している建物の損害等の被害が発生しており、一部の店舗では営業停止や計画停電による営業時間変更の措置を行っております。これによる当社グループの営業活動等に及ぼす影響については、現在精査中であります。

したがって、連結業績予想については、平成23年1月7日に平成23年5月期第2四半期決算短信において公表いたしました業績予想を変更せずに記載しております。今後、業績予想に関して修正が必要になった場合には、速やかに開示してまいります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 簡便な会計処理

① たな卸資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の計上は、当第2四半期連結会計期間末の実地たな卸高を基準に算出した帳簿たな卸高によっております。

② 固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度以降に経営環境に著しい変化がなく、かつ、一時差異等の発生状況に大幅な変動がないと認められる場合は、前連結会計年度において使用した将来の業績予測などを利用する方法によっています。

2. 四半期連結財務諸表の作成に係る特有の会計処理

① 税金費用の計算

当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税金等調整前四半期純利益に当該実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

1. 資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益は48,301千円、税金等調整前四半期純利益は296,473千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は555,755千円であります。

2. 表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用に伴い、第1四半期連結会計期間より、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,582,006	4,037,914
受取手形及び売掛金	1,809,793	1,815,975
商品及び製品	16,726,679	15,466,641
その他	872,280	844,135
貸倒引当金	△6,513	△19,026
流動資産合計	22,984,245	22,145,640
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,705,555	1,377,228
工具、器具及び備品(純額)	676,957	652,331
その他(純額)	8,445	6,085
有形固定資産合計	2,390,958	2,035,644
無形固定資産		
のれん	72,306	108,685
その他	50,224	30,777
無形固定資産合計	122,531	139,463
投資その他の資産		
差入保証金	1,750,108	1,561,720
その他	586,473	706,356
貸倒引当金	△69,294	△60,537
投資その他の資産合計	2,267,287	2,207,539
固定資産合計	4,780,777	4,382,647
資産合計	27,765,023	26,528,287

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,730,736	4,041,518
短期借入金	867,000	518,000
1年内償還予定の社債	20,000	—
1年内返済予定の長期借入金	1,573,971	1,447,434
未払金	588,261	599,561
未払費用	435,002	561,238
未払法人税等	405,918	912,943
賞与引当金	37,046	9,181
資産除去債務	15,015	—
その他	185,074	280,721
流動負債合計	7,858,026	8,370,600
固定負債		
社債	70,000	—
長期借入金	3,129,464	3,213,102
長期末払金	374,960	422,553
退職給付引当金	60,443	50,361
役員退職慰労引当金	208,717	177,086
資産除去債務	600,323	—
その他	64,000	71,000
固定負債合計	4,507,909	3,934,103
負債合計	12,365,935	12,304,704
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,242,489	2,242,489
資本剰余金	2,219,406	2,219,406
利益剰余金	10,929,687	9,761,687
株主資本合計	15,391,582	14,223,582
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△11,128	—
評価・換算差額等合計	△11,128	—
少数株主持分	18,633	—
純資産合計	15,399,087	14,223,582
負債純資産合計	27,765,023	26,528,287

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成22年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)
売上高	27,193,300	29,881,777
売上原価	15,895,794	17,322,210
売上総利益	11,297,505	12,559,566
販売費及び一般管理費	8,747,122	9,786,295
営業利益	2,550,382	2,773,271
営業外収益		
仕入割引	54,596	56,282
業務受託料	31,169	47,669
その他	43,305	31,395
営業外収益合計	129,071	135,348
営業外費用		
支払利息	74,361	72,389
その他	16,342	11,884
営業外費用合計	90,703	84,273
経常利益	2,588,751	2,824,345
特別利益		
貸倒引当金戻入額	327	5,511
移転補償金	9,300	18,844
特別利益合計	9,627	24,356
特別損失		
固定資産除却損	63,478	14,408
減損損失	33,701	84,339
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	260,976
その他	—	7,968
特別損失合計	97,180	367,692
税金等調整前四半期純利益	2,501,198	2,481,009
法人税等	1,098,740	1,189,021
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,291,988
少数株主損失(△)	—	△7,705
四半期純利益	1,402,457	1,299,694

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成22年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,501,198	2,481,009
減価償却費	323,986	357,233
減損損失	33,701	84,339
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	260,976
のれん償却額	40,757	41,243
売上債権の増減額(△は増加)	58,804	39,400
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,183,945	△1,191,093
仕入債務の増減額(△は減少)	△331,170	△367,172
その他	414,311	△74,566
小計	1,857,643	1,631,370
利息及び配当金の受取額	3,503	2,489
利息の支払額	△74,369	△71,378
法人税等の支払額	△1,488,629	△1,673,999
営業活動によるキャッシュ・フロー	298,149	△111,518
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△309,311	△374,410
無形固定資産の取得による支出	△11,259	△28,615
差入保証金の差入による支出	△139,958	△235,528
その他	△140,076	△30,890
投資活動によるキャッシュ・フロー	△600,606	△669,444
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	399,000	349,000
長期借入れによる収入	1,500,000	1,200,000
長期借入金の返済による支出	△957,332	△1,157,101
社債の発行による収入	—	98,490
社債の償還による支出	—	△10,000
長期未払金の返済による支出	△159,280	△82,453
配当金の支払額	△54,037	△107,544
財務活動によるキャッシュ・フロー	728,350	290,391
現金及び現金同等物に係る換算差額	△392	△7,016
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	425,500	△497,587
現金及び現金同等物の期首残高	3,058,486	4,017,914
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	41,679
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,483,987	3,562,006

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年6月1日 至 平成23年2月28日）

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年6月1日 至 平成23年2月28日）

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により、当社グループでは東北地方及び関東地方の店舗において商品落下・什器の転倒・ショーケース等の破損や入居している建物の損害等の被害が発生しており、一部の店舗では営業停止や計画停電による営業時間変更の措置を行っております。これによる当社グループの営業活動等に及ぼす影響、復旧の見通し及び修繕工事等に係る費用を含めた実質損害額は、現時点では未確定であります。

4. (参考) 四半期財務諸表 (個別)

(1) (参考) 四半期貸借対照表 (個別)

(単位：千円)

科 目	当第3四半期会計期間末 (平成23年2月28日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年5月31日)
資産の部		
I 流動資産		
1 現金及び預金	3,268,718	3,818,820
2 売掛金	1,673,228	1,721,623
3 商品及び製品	15,824,374	14,711,961
4 その他	695,309	753,181
貸倒引当金	△4,471	△16,983
流動資産合計	21,457,160	20,988,604
II 固定資産		
1 有形固定資産		
(1) 建物及び構築物	1,453,088	1,220,182
(2) 工具器具及び備品	565,785	580,649
(3) その他	3,792	4,541
有形固定資産合計	2,022,666	1,805,373
2 無形固定資産		
(1) ソフトウェア	12,693	19,137
(2) その他	28,991	1,391
無形固定資産合計	41,685	20,529
3 投資その他の資産		
(1) 関係会社株式	577,631	521,081
(2) 差入保証金	1,513,244	1,374,294
(3) その他	841,771	879,610
貸倒引当金	△67,537	△60,537
投資その他の資産合計	2,865,109	2,714,449
固定資産合計	4,929,461	4,540,352
資産合計	26,386,621	25,528,956

科 目	当第3四半期会計期間末 (平成23年2月28日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年5月31日)
負債の部		
I 流動負債		
1 買掛金	3,623,959	3,998,274
2 短期借入金	667,000	268,000
3 1年内返済予定の長期借入金	1,303,767	1,217,274
4 未払金	486,336	543,886
5 未払費用	390,049	532,958
6 未払法人税等	314,928	909,785
7 賞与引当金	33,782	—
8 資産除去債務	15,015	—
9 その他	148,457	275,156
流動負債合計	6,983,295	7,745,335
II 固定負債		
1 長期借入金	2,549,412	2,619,550
2 長期未払金	374,960	422,553
3 退職給付引当金	55,312	46,871
4 役員退職慰労引当金	208,717	177,086
5 資産除去債務	541,898	—
6 その他	64,000	71,000
固定負債合計	3,794,300	3,337,062
負債合計	10,777,596	11,082,397
純資産の部		
I 株主資本		
1 資本金	2,242,489	2,242,489
2 資本剰余金	2,219,406	2,219,406
3 利益剰余金	11,147,130	9,984,664
株主資本合計	15,609,025	14,446,559
純資産合計	15,609,025	14,446,559
負債・純資産合計	26,386,621	25,528,956

(2) (参考) 四半期損益計算書 (個別)

(単位：千円)

科 目	前第3四半期累計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成22年2月28日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成23年2月28日)
I 売上高	25,986,250	27,961,201
II 売上原価	15,511,185	16,703,780
売上総利益	10,475,065	11,257,421
III 販売費及び一般管理費	7,953,702	8,646,011
営業利益	2,521,362	2,611,409
IV 営業外収益		
1 仕入割引	54,596	56,282
2 業務受託料	31,169	47,669
3 その他	56,810	44,427
営業外収益合計	142,577	148,380
V 営業外費用		
1 支払利息	63,943	58,848
2 その他	17,240	9,590
営業外費用合計	81,184	68,439
経常利益	2,582,756	2,691,350
VI 特別利益		
1 移転補償金	9,300	18,844
2 貸倒引当金戻入額	—	5,511
特別利益合計	9,300	24,356
VII 特別損失		
1 固定資産除却損	61,401	8,896
2 減損損失	32,167	77,940
3 資産除去債務会計基準の 適用に伴う影響額	—	249,196
4 その他	—	7,968
特別損失合計	93,569	344,002
税引前四半期純利益	2,498,487	2,371,704
法人税等	1,100,851	1,101,528
四半期純利益	1,397,635	1,270,176

開示した四半期個別財務諸表は法定開示におけるレビュー対象ではありません。